

「まかない付きシェアハウス（仮称）」コンセプト

1 本施設の役割

当町における「住まい」「シゴト」面をサポートしつつ、「地域への定着」を併せてサポートし、地域と移住者の関わりを通じて檜葉町への地域愛が芽生え、当町への移住・定住が促進される施設

（１） 移住するまでのサポート

- ① 移住検討者・多様な働き方を検討する人たちの情報交換拠点
- ② 安価に中期的な居住ができる、定住へのステップアップ住宅
- ③ 町の移住促進に関する取組みの広告塔

（２） 移住してからのサポート

- ① 地域になじむための交流拠点
- ② 町内で働く場所（コワーキングスペース）
- ③ 地産食材を使った豊かな食生活の提供

2 本施設の機能

（１） 民泊

- ① 移住検討者や「マイプロジェクト」（本項（６）に記載）参加者が短期滞在する部屋
- ② 部屋数 ： 2
- ③ 宿泊費 ： 4,500 円（1 泊 2 食付き）
- ④ 営業日数： 30 日／月

（２） 下宿

- ① 檜葉町に仕事や居心地の良さを見つけた人が、数か月～2 年間、中期滞在しながら地域になじむために居住する部屋
- ② 部屋数 ： 5
- ③ 宿泊費 ： 35,000 円／月（朝食付き）

（３） コワーキングスペース

- ① 食事時間帯を除く時間帯、食堂をコワーキングスペースとして使用
- ② 利用料 1 ： 300 円／1 時間
- ③ 利用料 2 ： 8,000 円／月
- ④ 席数 ： 20

（４） 食堂

- ① 地元食材を利用した惣菜定食を提供
- ② 宿泊者も地域の人もここを利用し、両者の存在が自然にまじり合う
- ③ 席数 ： 20

- ④ 営業日数：20 日／月
- ⑤ 営業時間：11：30～14：30（ランチタイム）
16：30～21：30（ディナータイム）

（5）宅食サービス

- ① 町内企業などに働きにきた単身世帯の方、健康に配慮したい方、自由に買い物ができない方などをターゲットとした月額制定期宅食サービスを行う
- ② 月額：17,280 円（16 食分）

（6）マイプロジェクト

- ① 学習者一人一人が「自分のプロジェクト」を創り、自己発見を起点として問いを立て、地域との関わりを通じて学び、起業やプロジェクト創出の起爆剤とする。

<イメージ>

- ・1泊2日～2泊3日の単発ワークショップで自己理解を深める
- ・GWやお盆を利用した4泊5日の合宿により、スモールステップの計画を立てる
- ・長期滞在者が常時受けられるメンタリング・サポートにより、調査やスモールステップを繰り返し、地域との関わりを通じた生き方・暮らし方・働き方を見つけ出す

※地域との関わりを重ねるうちに、地域資源の情報や個人の困りごと、地元企業のニーズをとらえる

3 改修方針

（1）内装

- ① 共同トイレや風呂に建具設置
- ② 屋根裏を2室に改修
- ③ 食堂空間の内装刷新
- ④ 照明器具等、劣化しているインテリアの刷新 等

（2）外構

- ① シンボルツリー周辺を人が集う設えに
- ② 看板の名称変更 等

（3）総菜製造室（増設）

- ① 宅食サービスを提供するための総菜製造室を、隣接する土地（北側）に飛び出す形で増設 ※10m程度

（4）設備工事

- ① 現状の男女共同トイレを男女別に改修
- ② エアコン等空調機器の動作確認のうえ、必要に応じて入れ替え

- ③ 既存厨房機器の一部入れ替え

4 その他

(1) 防音性

- ① 可能な限りの防音性（とりわけ東側の住宅に対して）

(2) 景観

- ① 周囲の景観（近景・遠景）との調和